

2023年1月20日

# やまぎん企業景況サーベイ

## (2022年10-12月)

### <新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する特別調査>

#### ～企業の景況感は、製造業・非製造業ともに悪化～

「やまぎん企業景況サーベイ」は、企業の景況感を明らかにすることを目的に、山形県内に本社および事業所を有する企業を対象として四半期ごとに実施している調査です。

各種の経済活動が新型コロナウイルス感染症の影響をうけている現状を把握するため、「新型コロナウイルス感染拡大に関する特別調査」も同時実施しております。

#### 【調査要領】

対象期間 2022年10-12月  
調査期間 2022年11月1日～22日  
有効回答数 494社/600社（回答率 82.3%）

#### 【調査方法】

山形銀行本支店を通じアンケート用紙を配布・回収、もしくはオンライン回答による。

#### 【集計・分析方法】

県内企業の業況、生産・販売等の状況は、「BSI（Business Survey Index）」を用いて表します。

#### ①業況判断 BSI<前年同期比>

前年（2021年10-12月）に比べ業況が「良化する」企業の割合－「悪化する」企業の割合

#### ②売上高 BSI<前年同期比>

前年（2021年10-12月）に比べ売上高が「増加する」企業の割合－「減少する」企業の割合

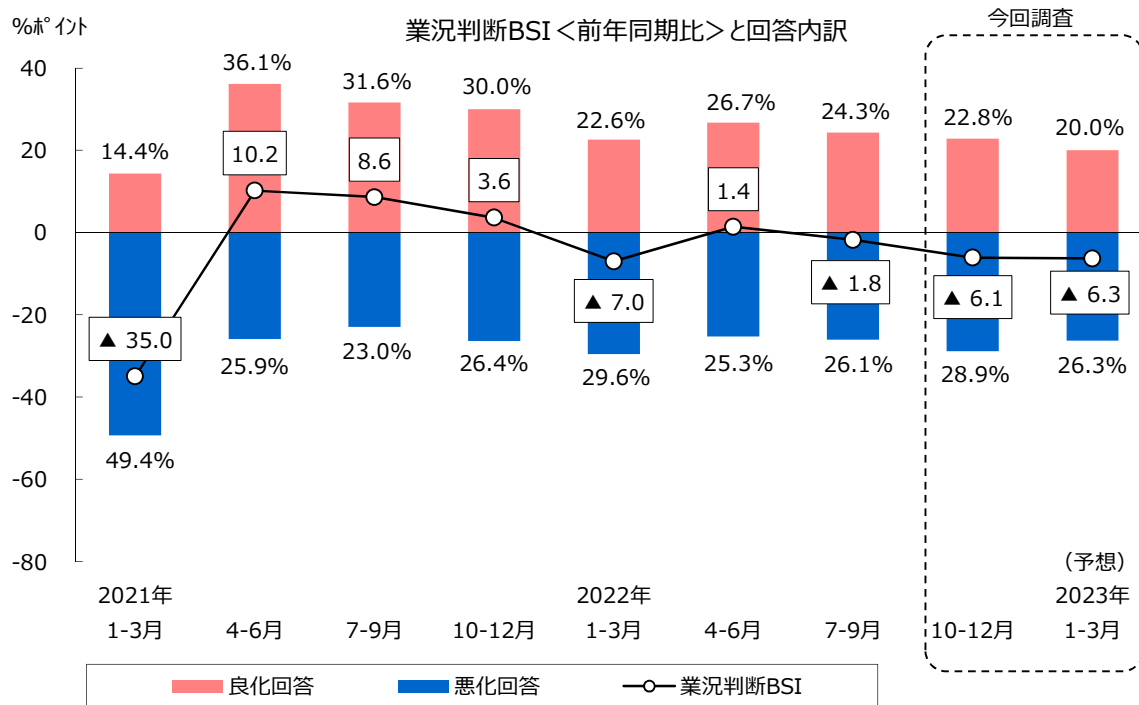
#### ③雇用判断 BSI

従業員数の水準について「多い」とする企業の割合－「少ない」とする企業の割合

やまぎん情報開発研究所  
(山形銀行 営業支援部)

# 1. 業況判断BSI <前年同期比>

～コスト上昇や海外経済減速懸念などから2期連続で低下～



## (1) 全産業ベースの動向

業況判断 BSI <前年同期比> <前年同期 (2021年 10-12月) に比べ業況が「良化する」企業の割合 - 「悪化する」企業の割合> は、前回調査 (2022年 7-9月) に比べて -4.3 ポイントの ▲6.1 となり、2 期連続で低下している。前回調査時点の予想に比べ、製造業、非製造業ともに下方修正となっている。円安等によるエネルギー価格や原材料価格の上昇に加え、海外経済の減速をうけた受注の伸び悩みが、製造業を中心に県内企業の業況を依然として下押ししている様子がうかがえる。一方、2022年 11 月からの国内第 8 波となる新型コロナウイルスの感染拡大が及ぼす影響は比較的軽微で、同年 10 月より開始された「全国旅行支援」によって、非製造業を中心とする観光関連業種では業況が改善する動きもみられた。

こうしたなか、2023 年 1-3 月の予想は、今回調査比 -0.2 ポイントの ▲6.3 とほぼ横ばいで、先行き不透明感が強まるなか、判断を保留して「前年並」とする回答が多くなっている。

## (2) 業種別の動向

以下では、業種別の BSI 水準に応じて下表のような天気マークを用いて表現した。

BSIの値	マーク
50以上	晴れ
15以上50未満	曇り一部晴れ
▲15超15未満	曇り
▲50超▲15以下	曇り一部雨
▲50以下	雨

業況判断BSI <前年同期比>

(予想)

業種	2021年		2022年				前回比	2023年	
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月		1-3月	今回比
全産業	8.6	3.6	▲7.0	1.4	▲1.8	▲6.1	▲4.3	▲6.3	-0.2

### ① 製造業

業況判断 BSI<前年同期比>を業種別にみると、製造業は前环比-3.6ポイントの-1.8となった。5期連続で低下した結果、7期ぶりに「悪化超」の水準に転じており、コロナ禍後の業況改善の動きに一服感が広がっている。内訳をみると、9業種のうち7業種が低下した。

**食料品・飲料** 原材料価格高騰の下押しが強まるなか、価格改定による買い控えの影響を受ける企業もみられ、3期ぶりに低下。

**繊維・衣服** 原糸の調達難などから3期ぶりに低下したが、前年比では業況が改善している企業が多く、BSIは「良化超」を維持。

**木材・家具** 木材や金属等、原材料価格高騰による下押しが強まり、BSIは2期連続で低下し、6期ぶりに「悪化超」に転じた。

**窯業・土石** 各種コスト増の価格転嫁の遅れを主な要因として、2期連続で低下。

**鉄鋼・金属** 建材、板金、電子部品等幅広く増産傾向にあり、BSIは2期連続で非製造業も含む全業種中最も高水準となった。

**電気機械** 海外からの部品調達難が続くなか、スマートフォン向け部品の受注減などもあり、2期ぶりに低下し、3期連続の「悪化超」に。



























































































**一般機械** 受注状況は底堅いものの、人員不足等もありさらなる増産には至らず、前年並みの業況とする企業が増え、BSIは5期連続で低下。

**輸送機械** 半導体不足の解消による自動車部品生産増の動きもみられるが、企業ごとのバラツキが目立ち、BSIはおおむね横ばいとなった。

**その他製造業** 前环比では5期ぶりに上昇。ただし、前年比で業況が改善している企業は限ら

業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	2021年		2022年				前环比	2023年	
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月		1-3月	今环比
製造業	 24.9	 17.6	 4.7	 4.2	 1.8	 ▲ 1.8	 -3.6	 ▲ 9.4	 -7.6
食料品・飲料	 ▲ 9.6	 ▲ 5.3	 ▲ 17.3	 0.0	 0.0	 ▲ 15.4	 -15.4	 ▲ 2.6	 +12.8
繊維・衣服	 36.3	 38.4	 ▲ 20.0	 ▲ 15.4	 23.1	 16.7	 -6.4	 18.2	 +1.5
木材・家具	 30.0	 41.6	 0.0	 42.8	 7.7	 ▲ 20.0	 -27.7	 ▲ 33.3	 -13.3
窯業・土石	 ▲ 12.5	 0.0	 ▲ 33.3	 10.0	 ▲ 10.0	 ▲ 20.0	 -10.0	 ▲ 20.0	 ±0.0
鉄鋼・金属	 29.5	 47.4	 9.1	 ▲ 11.7	 41.2	 47.6	 +6.4	 ▲ 9.5	 -57.1
電気機械	 9.1	 11.6	 11.5	 ▲ 7.1	 ▲ 3.5	 ▲ 10.3	 -6.8	 ▲ 10.4	 -0.1
一般機械	 45.3	 28.8	 24.3	 17.8	 4.1	 2.3	 -1.8	 ▲ 8.9	 -11.2
輸送機械	 53.4	 0.0	 33.4	 12.5	 7.7	 7.2	 -0.5	 ▲ 7.1	 -14.3
その他製造業	 43.3	 10.0	 0.0	 ▲ 6.4	 ▲ 25.0	 ▲ 13.8	 +11.2	 ▲ 13.8	 ±0.0

れ、前年並みの業況とする企業が増えている。

2023年1-3月の予想については、今回調査比-7.6ポイントの▲9.4で、6期連続の低下が見込まれており、内訳をみても横ばいしないし悪化を見込む業種が多くなっている。

## ② 非製造業

非製造業は前回比-4.9ポイントの▲9.4で、2期連続で低下し、6期連続で「悪化超」となっている。内訳をみると、前回比では6業種のうち3業種が低下、3業種が上昇と二分されているが、企業数の多い建設業・不動産業が大幅に低下し、全体を下押しした。

**建設業・不動産業** 建設価格の上昇から民間工事に弱さがみられるほか、8月の豪雨災害による悪影響などもあり、大幅悪化でBSIは全業種中最も低水準となった。

**運輸業** 全国旅行支援により旅客輸送で持ち直しの動きが強まり、BSIは2期ぶりに上昇。

**卸売業** 輸入品等の調達難に加え、仕入価格の値上がりが販売価格の改定に追いつかない状況が続いており、BSIは2連続で低下。

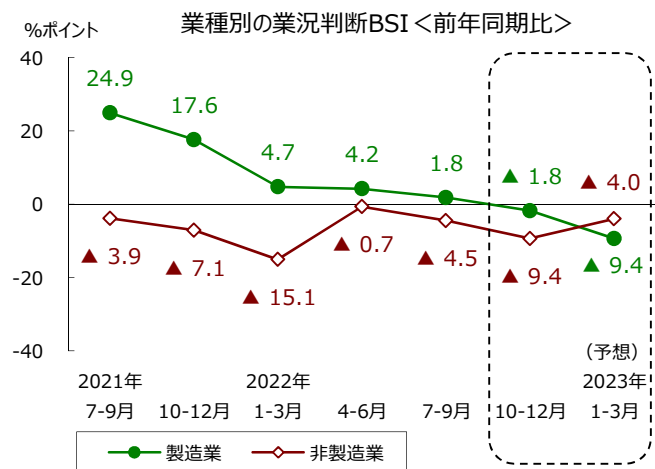
**小売業** 前年比で業況が良化している企業は

限られるものの、燃料販売を中心に前年並みの業況とする企業が増え、BSIは2期ぶりに上昇。

**旅館・ホテル、飲食業** 全国旅行支援により2期ぶりに上昇し、BSIは非製造業で最も高水準に。

**サービス業・その他** 3期連続で「良化超」を維持しているが、足もとでは感染再拡大の影響を受ける企業もあり、3期ぶりに低下した。

2023年1-3月の予想については、今回調査比+5.4ポイントの▲4.0で、「悪化超」ながら観光需要の回復期待等から3期ぶりの上昇が見込まれている。実現すれば、2年ぶりに製造業と非製造業のBSIが逆転することになる。



業種別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

業種	2021年		2022年			2022年		前回比	2023年	
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		今回比	
非製造業	▲ 3.9	▲ 7.1	▲ 15.1	▲ 0.7	▲ 4.5	▲ 9.4	-4.9	▲ 4.0	+5.4	
建設業・不動産業	▲ 1.2	2.3	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 11.5	▲ 27.5	-16.0	▲ 17.6	+9.9	
運輸業	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 21.4	15.8	11.1	23.6	+12.5	29.4	+5.8	
卸売業	▲ 6.6	▲ 11.3	▲ 18.7	5.8	▲ 12.3	▲ 14.1	-1.8	▲ 3.1	+11.0	
小売業	▲ 2.6	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 19.6	▲ 20.4	▲ 9.3	+11.1	▲ 9.3	±0.0	
旅館・ホテル、飲食業	▲ 40.0	▲ 33.3	0.0	50.0	40.0	46.7	+6.7	46.7	±0.0	
サービス業・その他	7.1	14.7	▲ 7.9	6.8	10.8	2.1	-8.7	▲ 2.1	-4.2	

### (3) 地区別の動向

業況判断BSI<前年同期比>を地区別にみると、北部地区が▲1.9、庄内地区が▲3.5、置賜地区が▲3.9、山形地区が▲8.9、西部地区が▲14.5の順になり、前回比では置賜地区のみ上昇し、他はすべて低下した。全地区が「悪化超」となるのは2021年1-3月以来7期ぶりである。

地区別の内訳

地区	市町村
山形地区	山形市、上山市
置賜地区	米沢市、長井市、南陽市、高島町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
西部地区	寒河江市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町
北部地区	村山市、天童市、東根市、尾花沢市、大石田町、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
庄内地区	鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、遊佐町

#### ① 山形地区

前回比-1.7ポイントの▲8.9で、小幅ながら2期連続の低下。製造業では食料品・飲料と

一般機械、非製造業では建設業・不動産業と卸売業の悪化が主な低下要因となった。

#### ② 置賜地区

前回比+1.9ポイントの▲3.9となり、全地区中唯一上昇した。非製造業は悪化したものの、製造業では繊維・衣服、木材・家具、電気機械などが改善し、全体を押し上げた。

#### ③ 西部地区

前回比-14.5ポイントの▲14.5となり、2期ぶりに低下。前回調査で改善が目立った食料品・飲料、繊維・衣服製造業が再び悪化した。

#### ④ 北部地区

前回比-1.9ポイントの▲1.9で、5期連続の低下。製造業は横ばいだが、建設業・不動産業の大幅悪化で非製造業が「悪化超」となった。

#### ⑤ 庄内地区

前回比-13.1ポイントの▲3.5となり、3期ぶりに低下。製造業は「良化超」を維持したものの、前回比では一般機械、電気機械、鉄鋼・金属など機械関連の悪化が目立った。

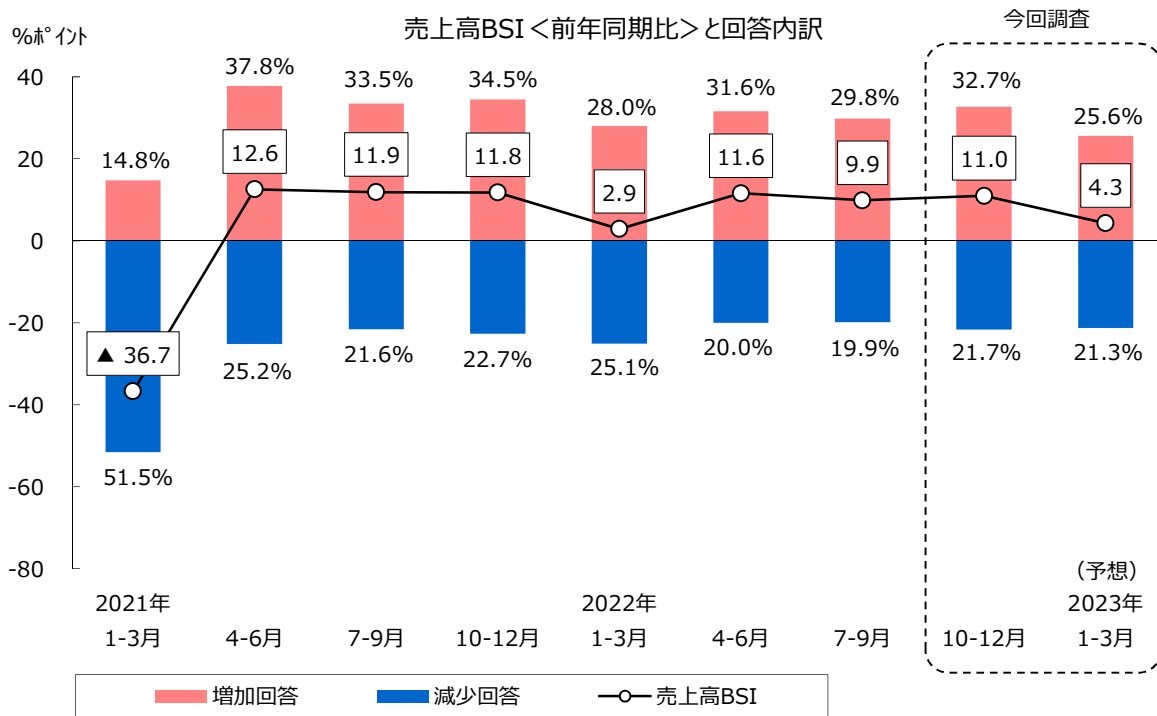
地区別の業況判断BSI<前年同期比>

(予想)

地区	時期	2021年					2022年		2023年	
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	前回比	1-3月	今回比
山形地区										
		4.8	2.9	▲ 15.1	▲ 0.6	▲ 7.2	▲ 8.9	-1.7	▲ 8.2	+0.7
	製造業	22.9	2.1	▲ 14.3	3.7	▲ 10.3	▲ 12.3	-2.0	▲ 22.5	-10.2
非製造業	▲ 4.1	3.3	▲ 15.5	▲ 2.6	▲ 5.7	▲ 7.3	-1.6	▲ 1.0	+6.3	
置賜地区										
		7.5	▲ 3.0	▲ 16.1	0.0	▲ 5.8	▲ 3.9	+1.9	▲ 11.0	-7.1
	製造業	25.0	11.1	2.5	1.9	▲ 1.8	3.7	+5.5	▲ 11.3	-15.0
非製造業	▲ 11.1	▲ 19.2	▲ 35.0	▲ 2.1	▲ 10.8	▲ 12.7	-1.9	▲ 10.7	+2.0	
西部地区										
		17.8	3.6	▲ 8.6	▲ 11.1	0.0	▲ 14.5	-14.5	▲ 9.2	+5.3
	製造業	44.5	37.9	20.0	▲ 14.8	3.9	▲ 9.6	-13.5	▲ 10.0	-0.4
非製造業	▲ 22.2	▲ 34.7	▲ 40.9	▲ 7.4	▲ 3.7	▲ 20.9	-17.2	▲ 8.4	+12.5	
北部地区										
		18.4	16.5	15.6	13.7	0.0	▲ 1.9	-1.9	1.0	+2.9
	製造業	23.2	31.1	17.5	12.0	0.0	0.0	±0.0	1.9	+1.9
非製造業	13.7	2.2	13.9	15.5	0.0	▲ 3.7	-3.7	0.0	+3.7	
庄内地区										
		1.2	▲ 1.2	▲ 6.1	1.3	9.6	▲ 3.5	-13.1	▲ 4.7	-1.2
	製造業	12.9	14.3	4.2	13.3	30.0	10.4	-19.6	▲ 3.5	-13.9
非製造業	▲ 6.0	▲ 8.6	▲ 11.9	▲ 6.1	▲ 1.9	▲ 10.7	-8.8	▲ 5.4	+5.3	

## 2. 売上高BSI <前年同期比>

～一定の価格転嫁が進み底堅く推移、先行きは悪化予想～



### (1) 全産業ベースの動向

売上高 BSI <前年同期比>は、前回調査 (2021年 7-9月) に比べ+1.1ポイントの 11.0 となり、小幅ながら 2 期ぶりに上昇した。内訳をみると、減少回答割合は前回よりも上昇したものの、それを上回って増加回答割合が上昇した。7-9月よりも 10-12月に価格改定を行った企業がより多くあり、二極化含みではあるが、売上増となった企業が増えた様子がうかがえる。ただし、業況判断 BSI と売上高 BSI のギャップ (業況判断 BSI - 売上高 BSI) は▲17.1 と、調査開始以来最低を更新しており、売上高の増加がコスト上昇をカバーできず、業況悪化が続いている様子がうかがえる。

2023年 1-3月の予想については、今回調査比-6.7ポイントの 4.3 と再び低下する見込みとなっている。

### (2) 業種別の動向

業種別に売上高 BSI をみると、製造業は前回比+1.2ポイントの 19.5 で 3 期連続の上昇、非製造業は同+0.9ポイントの 4.4 となった。

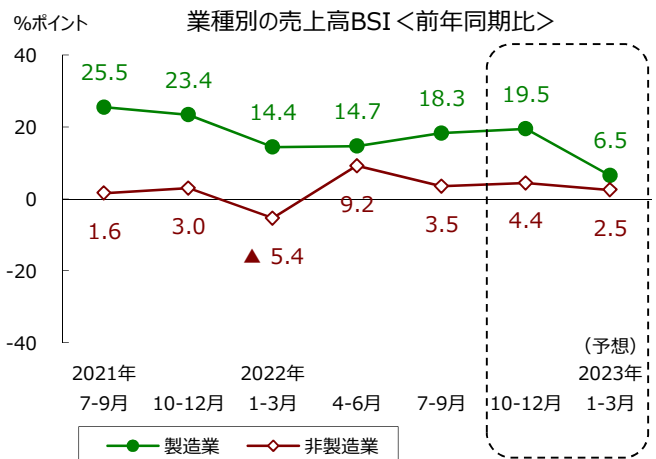
### ① 製造業

前回比では 9 業種中低下が 5 業種となったが、機械関連を中心とする 4 業種の上昇が全体を押し上げ、高水準での推移を維持した。

### ② 非製造業

前回比では 6 業種中 3 業種が低下、3 業種が上昇と二分されたが、卸売業と小売業が価格転嫁の進展から上昇し「増加超」に転じた。

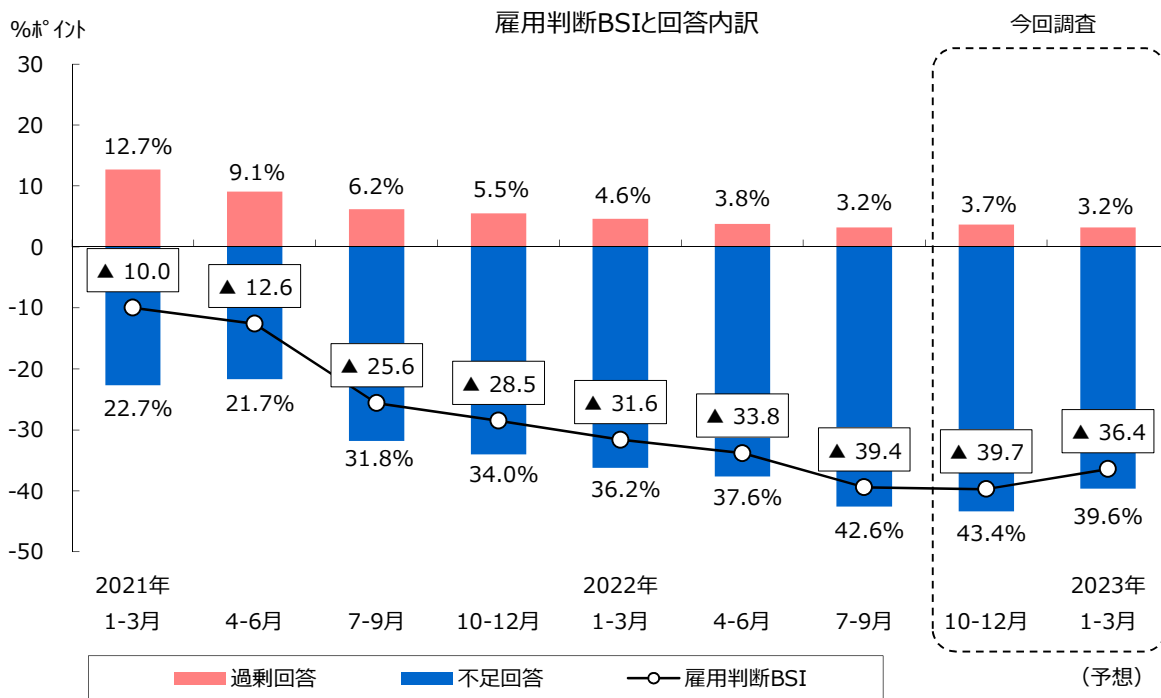
2023年 1-3月の予想は、製造業が今回調査比-13.0ポイントと大きく低下し 6.5、非製造業は同-1.9ポイントの 2.5 となる見込み。





### 3. 雇用判断BSI

～人手不足感の強まりから、調査開始以来最低水準を更新～



#### (1) 全産業ベースの動向

従業員数の水準(パート・アルバイト等を含む)については、「多い」とする企業の割合が3.7%、「適正」が52.9%、「少ない」が43.4%となり、雇用判断BSIは前回比-0.3ポイントの▲39.7となった。小幅ながら7期連続の低下で、調査開始以来の最低水準を更新するなど、人手不足感が非常に強まっている。

こうしたなか、2023年1-3月の予想については、今回調査比+3.3ポイントの▲36.4で、わずかながら上昇する見通し。

#### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比-3.0ポイントの▲31.3で2期連続の低下。非製造業は同+1.3ポイントの▲46.3とわずかに上昇したものの、依然として過去最低に近い水準にある。

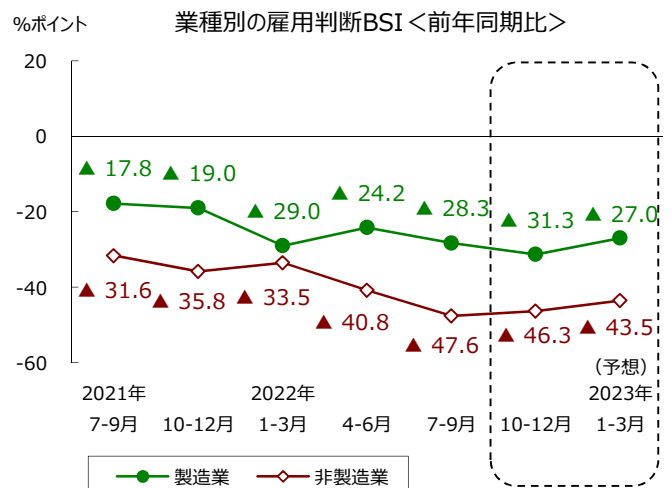
##### ① 製造業

前回比では9業種中4業種が上昇、5業種が低下となり、全業種が「不足超」となった。繁忙期にあたることもあり、特に食料品・飲料におけるBSIの低下が大きくなっている。

##### ② 非製造業

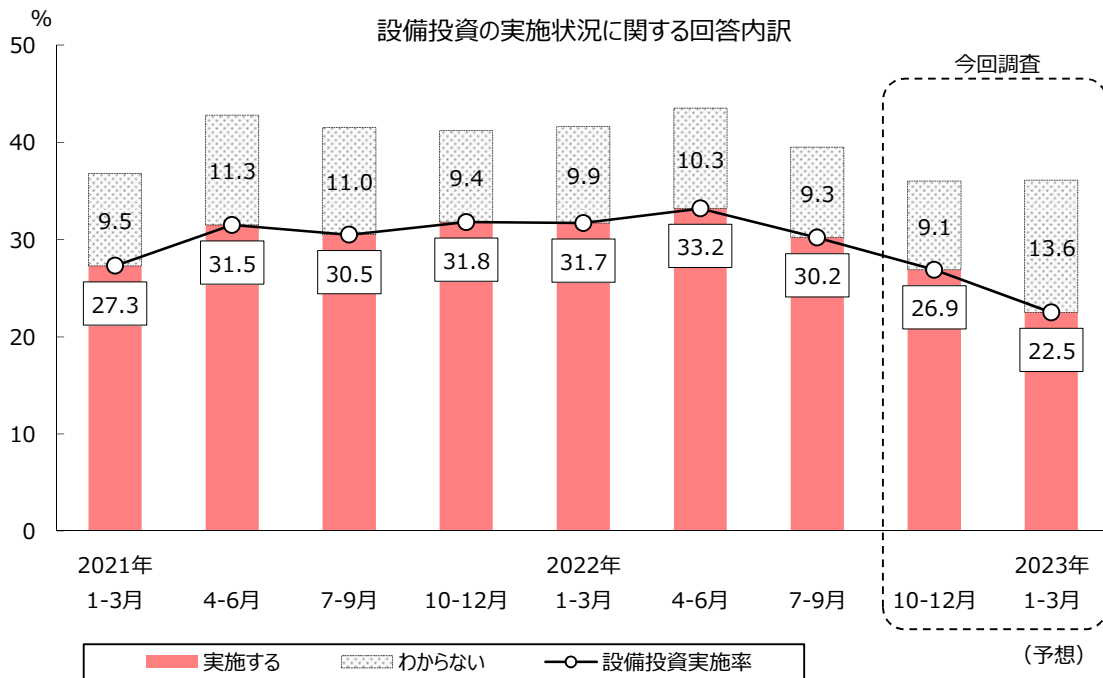
前回比では6業種中3業種が低下、3業種が上昇した。前回調査で全業種中最もBSIが低かった旅館・ホテル、飲食業は、▲73.3とさらにBSIが低下する動きとなった。

2023年1-3月の予想については、製造業が今回調査比+4.3ポイントの▲27.0、非製造業が同+2.8ポイントの▲43.5と、いずれも緩やかな上昇が見込まれている。



## 4. 設備投資実施率

～製造業、非製造業ともに弱含み～



### (1) 全産業ベースの動向

2022年10-12月に生産・営業用設備への投資を実施するかどうかについてたずねたところ、「実施する」との回答割合(設備投資実施率)は前回比-3.3ポイントの26.9%で、2期連続の低下。これは、コロナショックのあった2020年4-6月(23.4%)以来の低水準で、各種補助金等も活用したコロナ禍後の設備投資持ち直しの動きに一服感が広がっている様子がうかがえる。なお、前回調査時点では高水準の実施率となる予想であったが、コスト高による収益への下押しが強まっていることなどもあり、下方修正となった。

2023年1-3月の予想については、設備投資実施率は今回調査比-4.4ポイントの22.5%となる見込みで、弱含みが続く可能性が高い。

### (2) 業種別の動向

業種別にみると、製造業は前回比-5.1ポイントの30.7%で2期ぶりに低下し、2021年4-6月以来の低水準となった。非製造業についても同-2.0ポイントの24.0%で、コロナシ

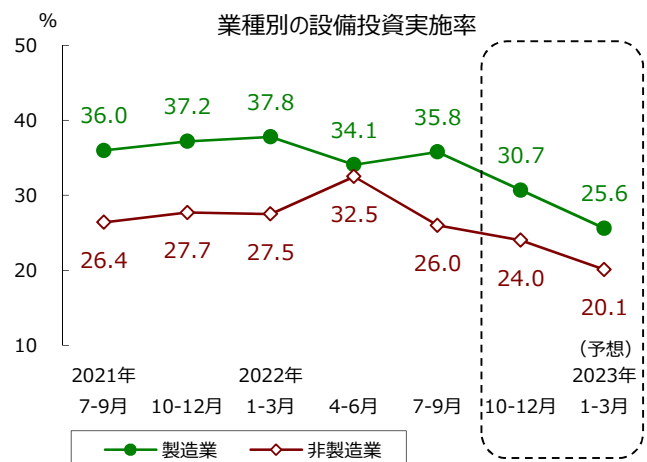
ックのあった2020年4-6月以来の低水準となるなど、いずれも低調となっている。

#### ① 製造業

繊維・衣服が41.7%で最も高く、次いで食品・飲料、鉄鋼・金属、その他製造業がいずれも33.3%となった。

#### ② 非製造業

運輸業が52.9%で最も高く、次いで旅館・ホテル、飲食業が46.7%、サービス業・その他が31.3%の順になった。





## 5. 冬季賞与について

### ～前年比増加企業の割合は微減、ただし支給のすそ野は拡大～

#### (1) 一人あたりの支給額

今冬の賞与(ボーナス)の支給状況についてきたところ、一人あたりの支給額については、前年に比べ「増加する」が17.6%、「前年並」が59.8%、「減少する」が12.4%、「支給なし」が10.2%となった。「増加する」との回答割合は、前年の冬季賞与に関する調査(2021年10-12月)に比べ-0.8ポイントと低下し、「減少する」との回答割合は同+2.0ポイント上昇するなど、前年に比べれば一人あたりの賞与の増加傾向は鈍化したと推測される。ただし、「支給なし」との割合は同-2.7ポイントと低下しており、支給のすそ野については拡大している様子がうかがえる。

#### ① 製造業

製造業では「増加する」が17.8%、「前年並」が56.5%、「減少する」が17.3%、「支給なし」が8.4%となった。前年に比べると、「増加する」との回答割合が-6.6ポイントと大きく低下する一方、「減少する」との回答割合が若干上昇しており、増加傾向が鈍化した様子がうかがえる。業種別にみると、「増加する」との回答割合が前年に比べ上昇したのは、繊維・衣服

業種別の冬季賞与の一人あたり支給額 (前年比)

(単位: %)	増加する	前年並	減少する	支給なし
<b>製造業</b>	<b>17.8 (-6.6)</b>	<b>56.5</b>	<b>17.3</b>	<b>8.4</b>
食料品・飲料	10.3 (-2.9)	66.7	15.4	7.7
繊維・衣服	8.3 (+0.6)	50.0	8.3	33.3
木材・家具	40.0 (+6.7)	46.7	13.3	0.0
窯業・土石	0.0 (±0.0)	70.0	20.0	10.0
鉄鋼・金属	33.3 (-1.7)	57.1	9.5	0.0
電気機械	20.7 (-2.4)	58.6	17.2	3.4
一般機械	20.0 (-14.1)	48.9	26.7	4.4
輸送機械	15.4 (±0.0)	38.5	30.8	15.4
その他 製造業	10.0 (-23.3)	63.3	10.0	16.7
<b>非製造業</b>	<b>17.4 (+3.6)</b>	<b>62.3</b>	<b>8.7</b>	<b>11.6</b>
建設業・不動産業	18.7 (+3.0)	65.9	7.7	7.7
運輸業	29.4(+23.1)	41.2	17.6	11.8
卸売業	15.9 (-0.8)	63.5	6.3	14.3
小売業	18.2(+10.9)	52.3	13.6	15.9
旅館・ホテル、飲食業	7.1 (-5.4)	50.0	7.1	35.7
サービス業・その他	14.9 (-0.1)	74.5	6.4	4.3

※( )内は前年差。

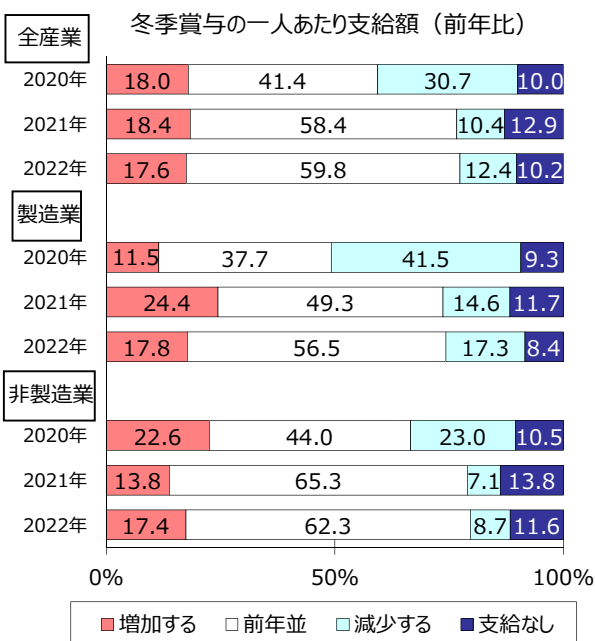
と木材・家具のみで、前年は高い割合だった一般機械やその他製造業における割合低下が大きくなっている。なお、木材・家具、鉄鋼・金属は、「増加する」が30%超で、「減少する」+「支給なし」を上回る割合となっており、これらの業種においてははっきりとした増加傾向が継続している様子もうかがえる。

#### ② 非製造業

非製造業では「増加する」が17.4%、「前年並」が62.3%、「減少する」が8.7%、「支給なし」が11.6%となった。前年に比べると、「減少する」とする回答割合が上昇しているが、「増加する」の回答割合も+3.6ポイントと上昇している。業種別にみると、建設業・不動産業、運輸業、小売業で「増加する」との回答割合が前年に比べ上昇した。

#### (2) 支給時期

今冬の賞与(ボーナス)の支給時期については、回答のあった376社のうち、12月が361社で96%を占めた。日付としては、12月20日が69社(18%)で最も多く、次いで12月10日が39社(10%)、12月9日が36社(9%)、12月15日が24社(6%)の順になった。



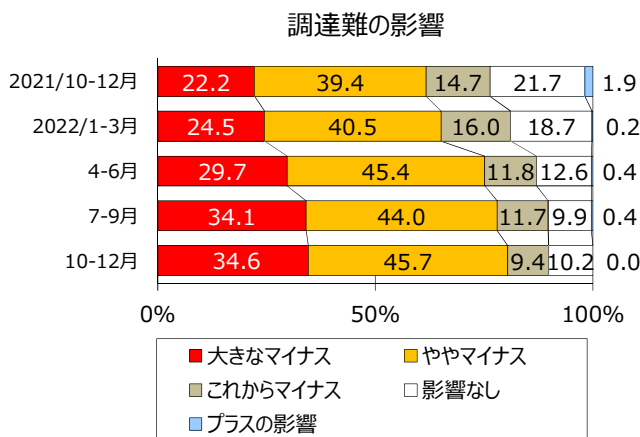
※過年度分は再集計を行っている。

## 6. 調達難の影響

～悪影響は8割の企業に及ぶが、調達難は徐々に緩和～

### (1) 調達難による影響度合い

2022年10-12月において、様々な調達難が業況に影響を与えているかどうかたずねたところ、全体では「大きなマイナスの影響がある」が34.6%、「ややマイナスの影響がある」が45.7%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が9.4%、「あまり影響はない」が10.2%で、「マイナスもあるが、全体としてはプラスの影響が大きい」は0.0%となった。マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は調査を重ねるごとに上昇しており、今回調査で80.3%と初めて8割に達した。

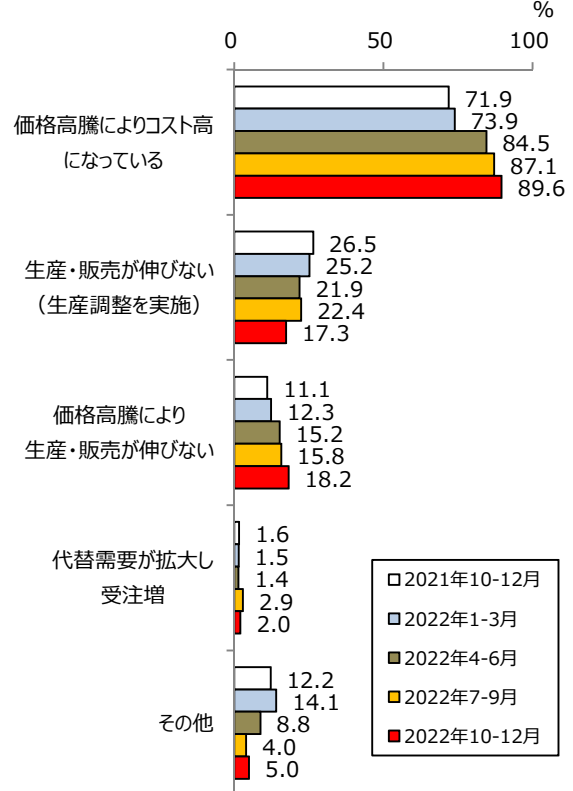


### (2) 調達難による影響の具体的な内容

調達難による影響をうけているとする企業に、具体的な影響(複数回答)についてきいたところ、「価格が高騰しコスト高となっている」が89.6%で最も高く、次いで「価格が高騰し生産・販売が伸びない」が18.2%、「生産・販売が伸びない(生産調整を実施)」が17.3%の順になった。

「価格が高騰しコスト高となっている」との回答割合は、製造業、非製造業ともに前回調査から一段と上昇した。詳細業種をみると、製造業では食料品・飲料、繊維・衣服、木材・家具、窯業・土石で、非製造業では旅館・ホテル、飲食業で100%の回答率に達するなど、仕入価格の上昇からコスト高の影響が足もとで特に強ま

影響の具体的な内容(複数回答)



った状況がうかがえる。

こうしたなか、「価格高騰により生産・販売が伸びない」との回答割合も上昇傾向が続いている。今回調査では、製造業では繊維・衣服と印刷等の「その他製造業」が、非製造業では小売業と旅館・ホテル、飲食業における上昇が目立っており、コスト高に対応した価格改定が進むにつれて、消費者の買い控えの動きが強まっていると実感する企業が増加している。

一方、調達難によって「生産・販売が伸びない(生産調整を実施)」との回答割合は、製造業、非製造業ともに前回比では低下した。製造業では、これまで半導体不足等による自動車メーカーの生産調整の影響をうけてきた輸送機械において、回答割合が前回の69.2%から36.4%へと大きく低下している。非製造業でも、機械器具等の卸売業が大きく低下する動きとなっており、調達難が続いてきた半導体や電子部品等の納入状況が一部では改善してきている様子もうかがえる。

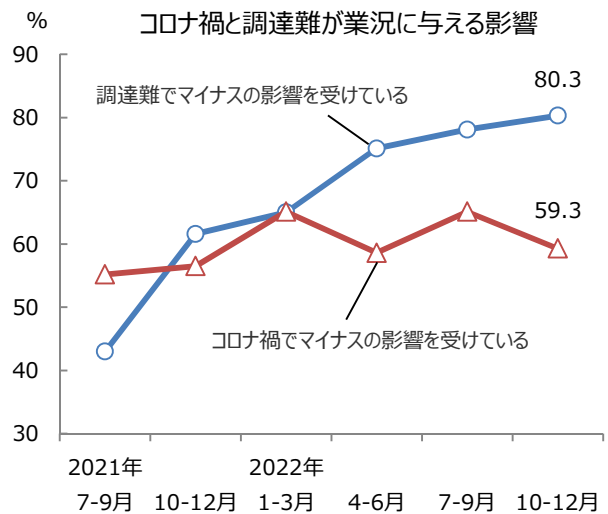
## 7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する特別調査

### ～感染再拡大が続くなかでも影響度合いは軽減～

#### (1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響

2022年10-12月において、新型コロナウイルスの感染拡大が業況に影響を与えているかどうかたずねたところ、「大きなマイナスの影響がある」が16.1%、「ややマイナスの影響がある」が43.2%、「あまり影響はないが、これからマイナスの影響が出る可能性がある」が13.8%、「あまり影響はない」が24.0%、「マイナスもあるが、全体としてはプラスの影響が大きい」が2.9%となった。

マイナスの影響があるとする割合(「大きなマイナス」+「ややマイナス」)は59.3%で、依然として約6割を占めるものの前回比では低下した。また、「大きなマイナス」とする割合については低下傾向が続き、2020年1-3月の調査開始以来の最低水準を更新している。詳細業種をみると、前回調査で「大きなマイナス」とする回答割合が50.0%と全業種中最も高い割合にあった旅館・ホテル、飲食業が、今回調査では26.7%まで一気に低下する動きとなっている。

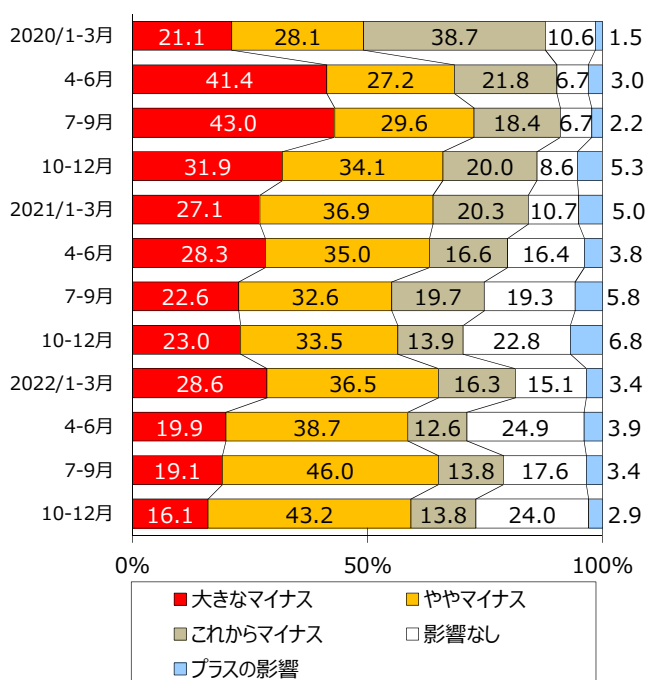


なお、前出の調達難が業況に与える影響と比較すると、コロナ禍によるマイナスの影響が59.3%であったのに対し、調達難によるマイナスの影響は80.3%で、コロナ禍による悪影響を受ける割合を、調達難が3期連続で大きく上回っている。

#### (2) 営業体制について

新型コロナウイルスの感染拡大によって、休業や従業員の一時帰休、時短営業など、広義の雇用調整(在宅勤務や配置転換などは除く)を実施しているとする回答割合は、2022年9月(再集計)が8.9%、10月が8.1%、11月が6.4%、12月が4.6%となる見込み。第7波、第8波と感染拡大が続くなかにおいても、コロナ禍を要因として広義の雇用調整を実施する企業はかなり少なくなってきた。

新型コロナウイルスの感染拡大が業況に与える影響



広義の雇用調整を実施する企業の割合



## 参考：業種別総括表

2022年10-12月

業種	時期 集計社数	業況判断 BSI		売上高 BSI		雇用判断 BSI		設備投資 実施率 (%)	
		前回比		前回比		前回比		前回比	
全産業	494	▲ 6.1	-4.3	11.0	+1.1	▲ 39.7	-0.3	26.9	-3.3
		▲ 6.3	-0.2	4.3	-6.7	▲ 36.4	+3.3	22.5	-4.4
製造業	215	▲ 1.8	-3.6	19.5	+1.2	▲ 31.3	-3.0	30.7	-5.1
		▲ 9.4	-7.6	6.5	-13.0	▲ 27.0	+4.3	25.6	-5.1
食料品・飲料	39	▲ 15.4	-15.4	12.8	-8.8	▲ 38.4	-24.9	33.3	-9.9
		▲ 2.6	+12.8	12.8	±0.0	▲ 23.1	+15.3	20.5	-12.8
繊維・衣服	12	16.7	-6.4	41.7	-12.1	▲ 45.5	+0.7	41.7	+16.7
		18.2	+1.5	33.4	-8.3	▲ 33.3	+12.2	33.3	-8.4
木材・家具	15	▲ 20.0	-27.7	6.7	-31.7	▲ 20.0	+3.1	20.0	-3.1
		▲ 33.3	-13.3	▲ 6.7	-13.4	▲ 13.3	+6.7	33.3	+13.3
窯業・土石	10	▲ 20.0	-10.0	0.0	-20.0	▲ 10.0	-10.0	30.0	-10.0
		▲ 20.0	±0.0	▲ 10.0	-10.0	▲ 10.0	±0.0	20.0	-10.0
鉄鋼・金属	21	47.6	+6.4	61.9	+26.6	▲ 47.6	-0.5	33.3	-2.0
		▲ 9.5	-57.1	9.5	-52.4	▲ 52.4	-4.8	38.1	+4.8
電気機械	29	▲ 10.3	-6.8	10.4	+6.9	▲ 24.1	-13.3	31.0	-6.9
		▲ 10.4	-0.1	0.0	-10.4	▲ 24.1	±0.0	31.0	±0.0
一般機械	45	2.3	-1.8	17.8	+3.5	▲ 24.4	+20.5	26.7	-3.9
		▲ 8.9	-11.2	▲ 6.7	-24.5	▲ 24.5	-0.1	13.3	-13.4
輸送機械	14	7.2	-0.5	▲ 7.2	-22.6	▲ 50.0	+11.5	28.6	-17.6
		▲ 7.1	-14.3	7.2	+14.4	▲ 42.9	+7.1	35.7	+7.1
その他製造業	30	▲ 13.8	+11.2	26.6	+23.5	▲ 26.7	-11.1	33.3	-4.2
		▲ 13.8	±0.0	24.1	-2.5	▲ 23.4	+3.3	26.7	-6.6
非製造業	279	▲ 9.4	-4.9	4.4	+0.9	▲ 46.3	+1.3	24.0	-2.0
		▲ 4.0	+5.4	2.5	-1.9	▲ 43.5	+2.8	20.1	-3.9
建設業・ 不動産業	91	▲ 27.5	-16.0	▲ 18.7	-6.1	▲ 51.6	+3.0	17.6	-7.7
		▲ 17.6	+9.9	▲ 15.4	+3.3	▲ 47.8	+3.8	18.7	+1.1
運輸業	17	23.6	+12.5	47.0	+8.2	▲ 52.9	+19.3	52.9	-8.2
		29.4	+5.8	47.0	±0.0	▲ 47.0	+5.9	41.2	-11.7
卸売業	64	▲ 14.1	-1.8	3.2	+7.8	▲ 37.5	-2.1	12.5	-4.4
		▲ 3.1	+11.0	▲ 4.7	-7.9	▲ 35.9	+1.6	9.4	-3.1
小売業	44	▲ 9.3	+11.1	16.3	+28.5	▲ 31.8	+2.9	27.3	+0.8
		▲ 9.3	±0.0	11.7	-4.6	▲ 29.5	+2.3	15.9	-11.4
旅館・ホテル, 飲食業	15	46.7	+6.7	53.3	-6.7	▲ 73.3	-8.3	46.7	+21.7
		46.7	±0.0	53.3	±0.0	▲ 73.3	±0.0	33.3	-13.4
サービス業 ・その他	48	2.1	-8.7	8.4	-15.5	▲ 50.0	-2.1	31.3	+5.2
		▲ 2.1	-4.2	6.2	-2.2	▲ 47.9	+2.1	29.2	-2.1

上段…2022年10-12月、下段…2023年1-3月予想